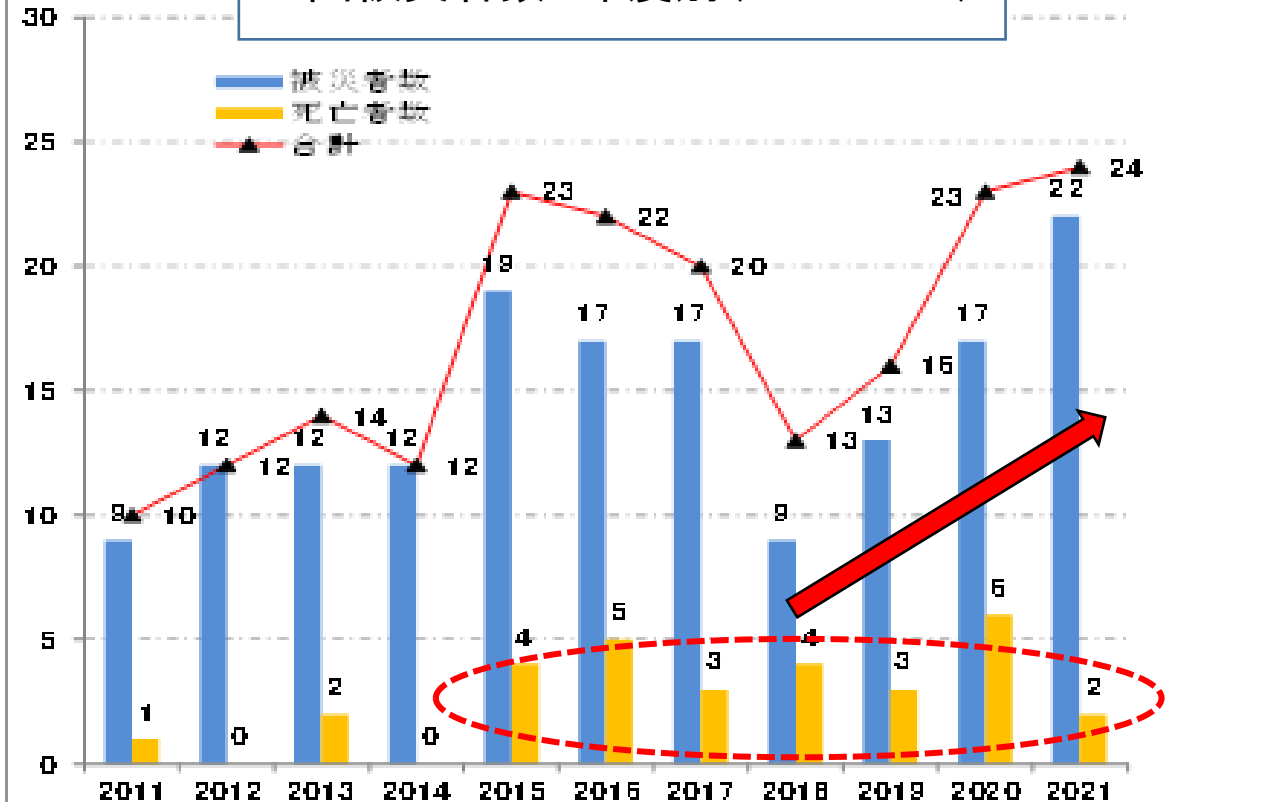


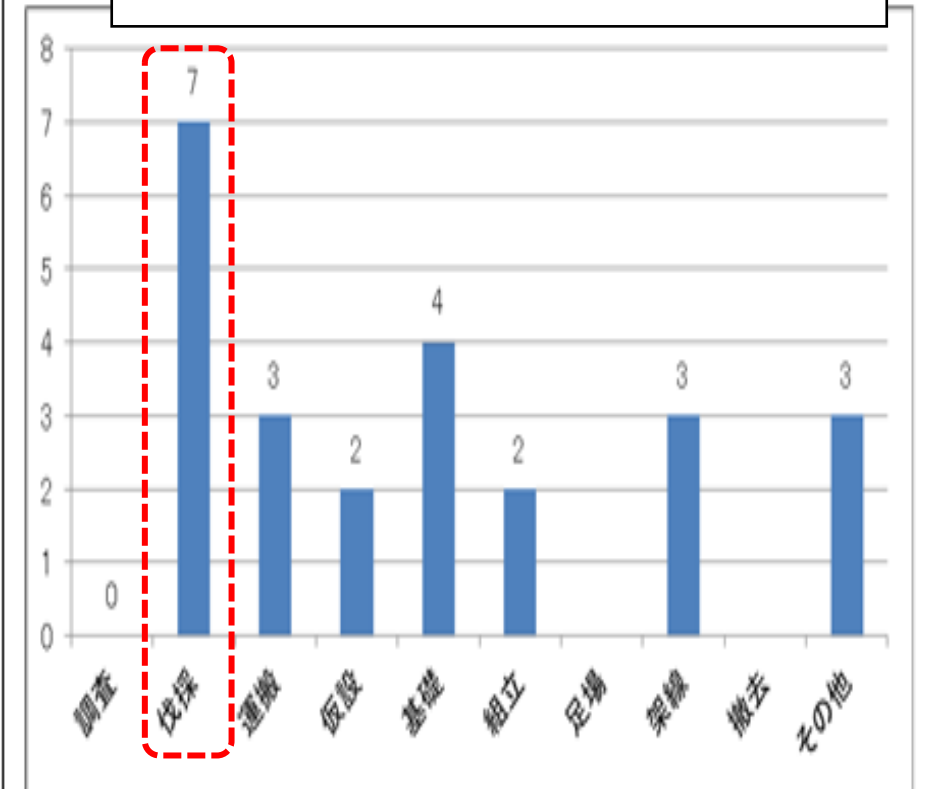
災害発生状況について

○2021年度:全国大での災害被災者総数 24人(送研会員会社・休務7日以上)

全国被災者数 年度別(2011-2021)



2021年度 作業種別災害(N=24)

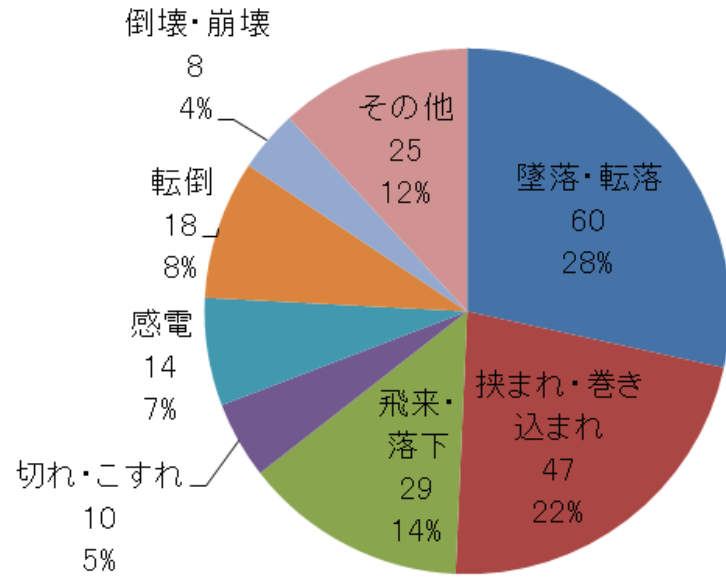


- 2018年から昨年度迄、連続して被害者総数は増加傾向にあり、死亡災害も2015年から連続して発生している。
- 2021年度は伐採関連災害が7件と約30%を占めている。

○全国災害での様態別(2005年～2021年)

全国災害 様態別(2005年～2021年)

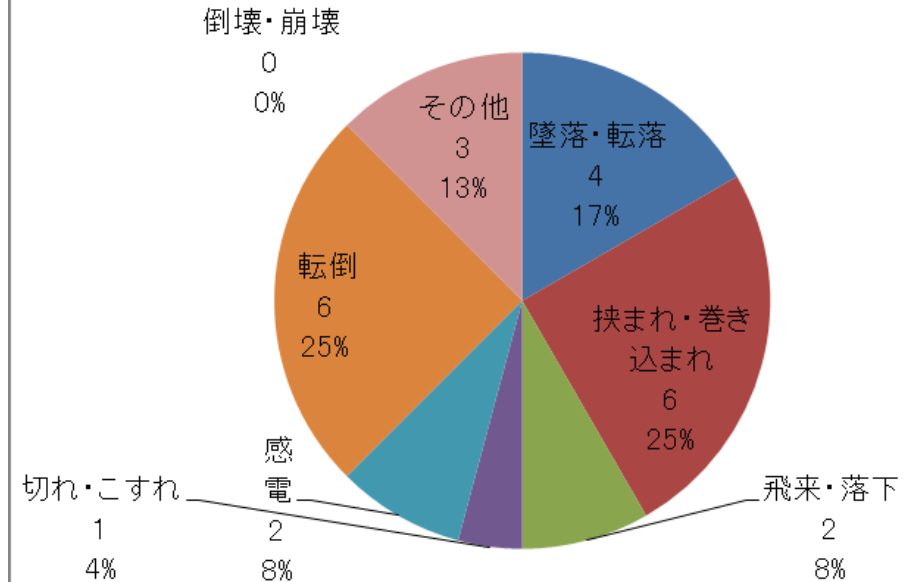
N=211



●過去からの災害様態は、「墜落・転落」「転倒」「挟まれ・巻き込まれ」「感電」である。

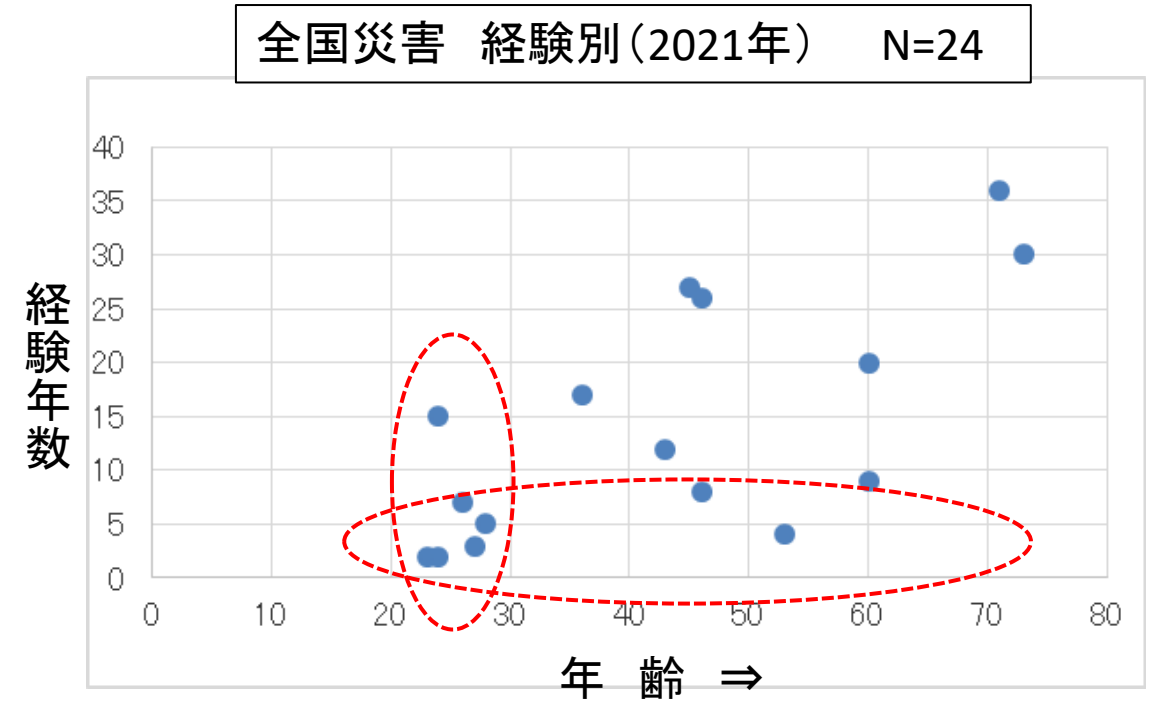
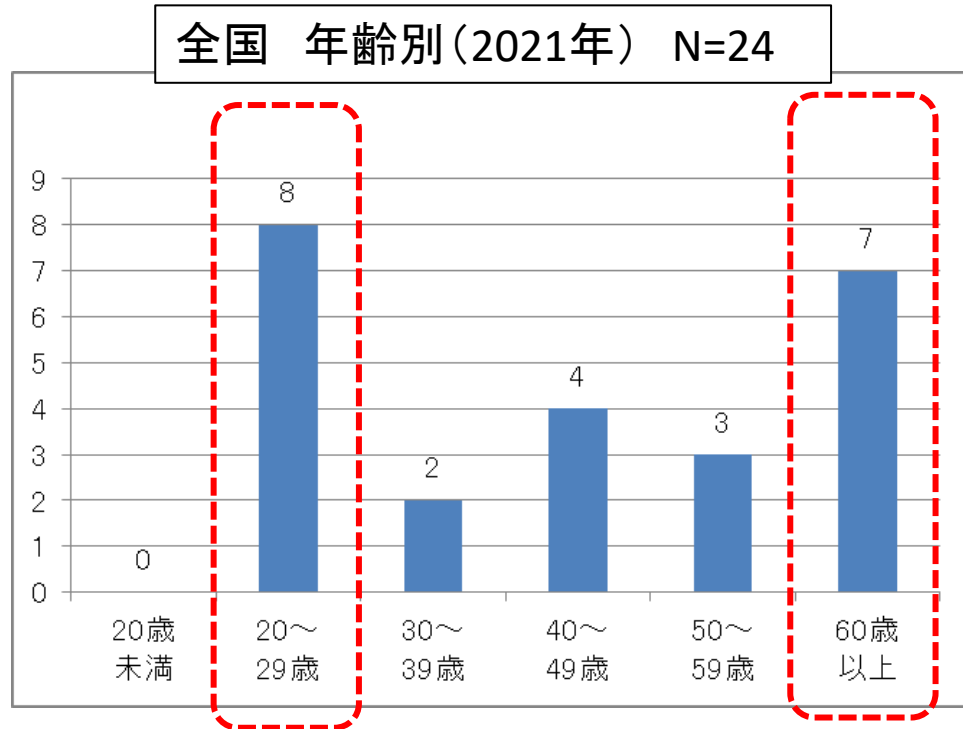
全国災害 様態別(2021年)

N=24



●2021年度災害発生の様態も、過去災害とほぼ同じ分類となっているが、高齢作業員による「転倒災害」が多い。

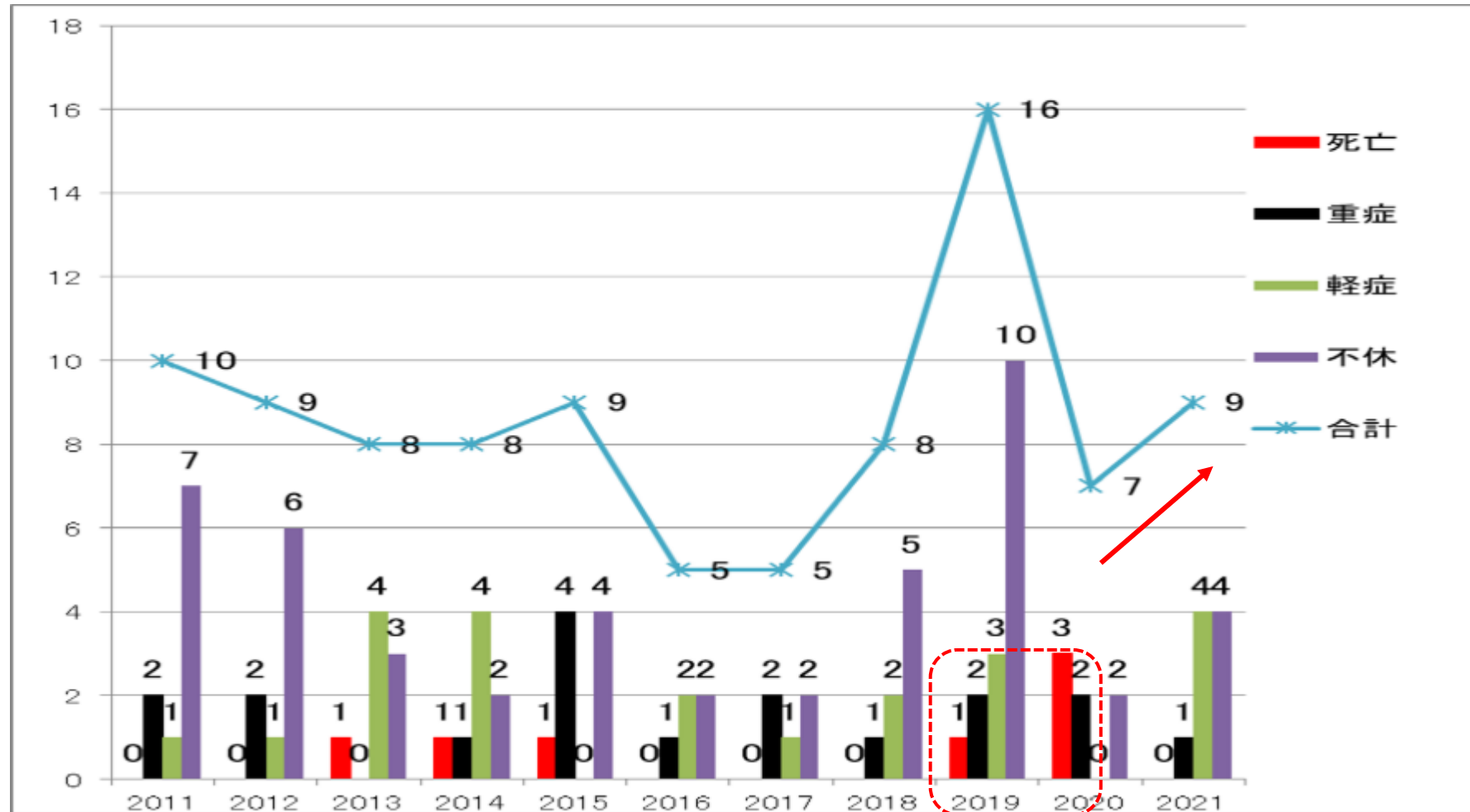
○全国災害での年齢・経験別(2005年～2021年)



- 被災者の年齢、作業経験においては、過去より年齢に関係無く災害は発生しているが、特に若い作業員や高齢の作業員で60%(15/24)を占めている。
- 2021年度は、特に経験の浅い作業員の方が多く、その中でも若い作業員の方が被災されている。(8/24=30%)

○2021年度：関西支部管内(架空送電)での災害件数 9件

関西支部管内、災害の推移(2011年～2021年)N=94件

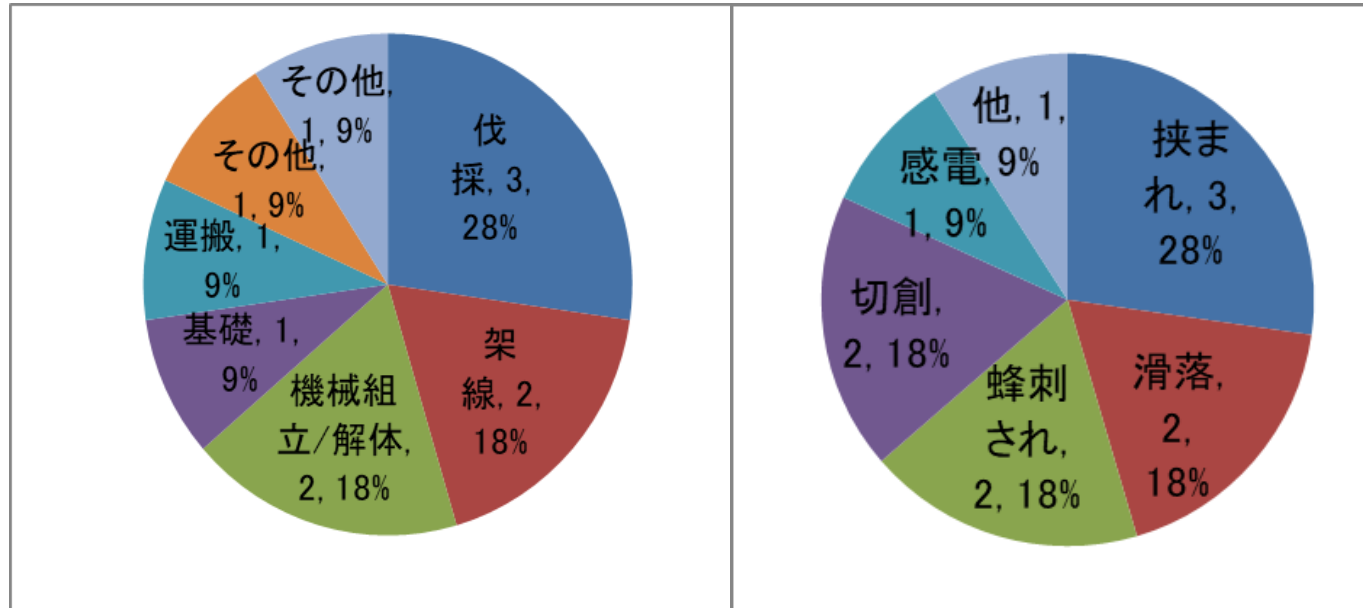


●死亡重篤災害が、2019年、2020年と連続して発生したが、2021年度は重篤災害1件、軽症4件と重篤災害は減少したものの、災害発生件数は9件と2件の増となった。

○2021年度：関西支部管内（架空送電）作業種・様態別、年齢/作業経験年数別件数

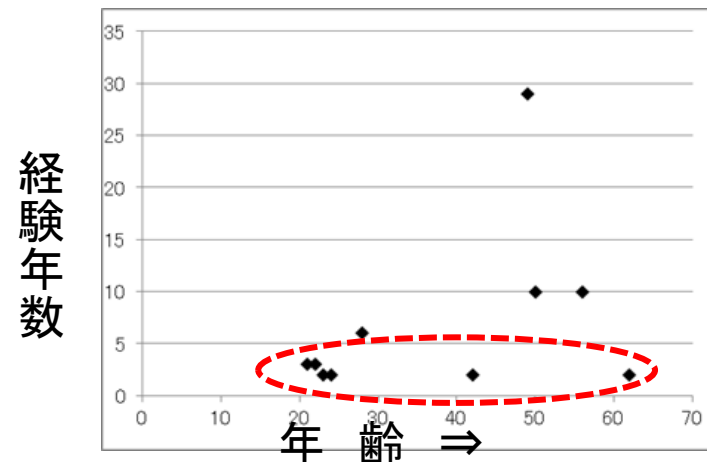
関西支部 作業種別（2021年）N=9

関西支部 様態別（2021年）N=9



●2021年度は作業種として、仮設機械の組立・解体時の災害が増加した。様態別では、挟まれ、墜落、転落、感電といった、過去からの災害様態と大きく変わらない。

関西支部 経験別（2021年）N=9



●2021年度災害では、年齢を問わず作業経験の浅い作業員（6/9=67%）が被災されている。これは、全国大の年齢別/経験年数も同様の傾向である。経験の浅い作業員に対し、丁寧な指導と教育が必要である。